

昔からある地域資源を活かしたい “摂田屋で醸される酒”をつないでいく

川上 麻衣さん

摂田屋地区で、創業470年以上の歴史がある吉乃川(株)の蔵元。令和元年10月にオープンした酒蔵「醸蔵」などで摂田屋の歴史や文化、日本酒の魅力を積極的にPRする



長部 茂幸さん

長部農場の跡取り。学校での食育活動やYouTube「オサベノジョウTV」など、積極的に農業の魅力を発信。「世界えだまめ早食い選手権」の副実行委員長も務める



“農業のありのまま”を伝えたい 田んぼのある長岡を後世に残す

助けになればと思ったのがきっかけでした。

市長 若者がつながる、新しい居場所づくりですね。ライフスタイルも世の中の先取りといった形で興味深いです。そして、柴木さんといえはものづくりフェアですね。

柴木 もう18年前ですかね。ものづくりの魅力を次の世代につなげたいと思って始めたんですよ。特にここ2、3年は実際にものづくりに触れてもらう体験(6ページ写真⑥)をメインにして。家族連れや子どもたちからたくさん来てもらえるようになりました。

市長 私もものづくりフェアにはお酒や音楽、農業など分野を超えてチャレンジする人間が集まる、そんなイベントになってほしいと思います。ロボット以外にも新しいアイデアを加えたりしてエネルギーが湧いてくるようなフェアにしていきたいですね!

新型コロナウイルス禍に どう挑むか

市長 感染症の影響で昨年は戦後初めて長岡まつり大花火大会が中止となりました。今年是对策を図りながら何とか開催したい。慰霊

長部 僕は常々、米百俵の精神のように教育こそが未来を変える唯一の方法だと信じているんです。学校での農業体験(写真①)で、これからの長岡を担う子どもたちに、精一杯、米作りに込める想いをつないでいきたいな。

山田 みなさんは人や想いを「つなぐ」ことを特に大事にされていると感じます。川上さんはお酒で人の輪をつないでいますね。

川上 お酒って嗜好品ですよ。だから誰と、どこで、どんな思いで飲んだかが大事だと思うんです。一昨年にオープンした「醸蔵」では、お酒はもちろん、摂田屋地区の歴史などを伝えています(写真③)。それは470年以上も摂田屋で蔵が続いてきた意義を、とても誇りに感じているからです。このまちの水や空気、文化もそう。ここでないと醸し出せないお酒があるんです。歴史をつなぐという役割もまた、大切な使命だと考えています。

市長 市では摂田屋地区の整備を進めています。昨年10月に情報発信・交流の拠点としてオープンした旧機那サフラン酒本舗の「米蔵」。片野さんたち音楽家の方にも、ぜひ使っていただきたいんです。

・復興・平和への想いをしっかりとつなげていきたいと考えています。13ページへ

柴木 今年のものづくりフェアも一時は中止を考えました。ただ、こんな時だからこそみんなにもものづくりで元気を届けたい。だからオンラインで開催することに決めました。26ページへ

川上 そうですよ。お酒を振る舞う私たち酒蔵の場合も、以前のように人が集まるイベントを開催して、さあどうぞっていうのがなかなか難しく。だからオンラインもうまく活用していきたいんです。摂田屋の歴史や今仕込んであるお酒の話をする。興味を持ってくれた人はすぐに来られなくても、次に行ける時を楽しみに思い続ける時間が生まれる。それって本当にすてきななって! (全員賛同)

長部 誰でも簡単に発信できるYouTubeも面白いですよ。4年前くらいから始めて、農業のつらいところもやりがいも、リアルな姿を伝えています。こういう状況で長岡に帰れない人も多いと思うんです。だからこそ故郷の田園風景を全国に届けて、長岡を感じてもらえたらなと思っています。

片野 10月から「ミュージックサフラン」という演奏会を開催(写真④)しています!

川上 「醸蔵」でもぜひ演奏してほしいです!

片野 飛んで行きますよ。

市長 音楽は楽しさや感動で人のつながりを生みますね。

片野 そうですね。実は私、ずっと音楽が嫌いだったんです。今もそんなに好きではない(笑)。ただ、好きじゃないからこそ嫌いな人がどうすれば楽しめるかを考えるんです。重要なのはたくさんの人と出会い、刺激を受けること。2019年から長岡が舞台となって開催されている「アフィニス夏の音楽祭」では、世界中から超一流の演奏家が長岡に集結します。音楽の敷居を下げて間口を広げ、もっと大勢の人が一流に触られるようにしたいです。

井上 私は3年前、まちなかの空きビルを改装して、友人5人とシェアハウスをしていました!(全員 驚き) その近くにある「庭と窓」というギャラリーで、大人が10代の若者に読んでほしい本を寄贈するという企画をしています。本に乗せた想いが世代を超えてつながり、若者の価値観が広がる手

たくさんの人と出会えることが大事 人もまちも、目指すはオンリーワン



“摂田屋×音楽”で高まる魅力

旧機那サフラン酒本舗「米蔵」で12月13日に「ミュージックサフラン～アフタヌーンコンサート～」が開催されました。片野さんが企画し、摂田屋地区出身の音楽家も参加。琴と尺八の美しい音色が会場に響き渡る、優雅なひとときとなりました。次回は3月25日(木)午後2時から。



片野 大輔さん

県内で活動するプロの音楽家集団・アンサンブル・オビリーの代表。長岡市音楽文化協会事務局局長も務める。学校での出前講座や教材用DVDの制作などに関わる

